

福島県みどりの食料システム基本計画一部改定 新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: center;">福島県みどりの食料システム基本計画</p> <p style="text-align: right;">令和5年3月31日 <u>策定</u> 令和7年〇月〇日 <u>一部改定</u></p> <p>(略)</p> <p>1 (略)</p> <p>2</p> <p>(1) ~ (2) (略)</p> <p><u>(3) 特定区域及び特定環境負荷低減事業活動として求められる事業活動の内容に関する事項</u> <u>本県において、特定環境負荷低減事業活動の促進を図る区域（特定区域）及び当該区域において実施する特定環境負荷低減事業活動として求められる事業活動の内容は、別添のとおりとします。</u></p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(6) (略)</p> <p><u>別添</u></p> <p><u>特定区域の区域及び事業活動の内容（喜多方市）</u></p>	<p style="text-align: center;">福島県みどりの食料システム基本計画</p> <p style="text-align: right;">令和5年3月31日 _____</p> <p>(略)</p> <p>1 (略)</p> <p>2</p> <p>(1) ~ (2) (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(3) (略)</p> <p>(4) (略)</p> <p>(5) (略)</p> <p>(新設)</p>

1 特定区域の区域

(1) 喜多方市全域



(2) 当該区域の特性及び区域設定の理由

本市は、福島県の北西部、会津盆地の北に位置し、飯豊連峰や磐梯山の頂を望む雄国山麓等の山々に囲まれ、田園地帯が広がる山紫水明の地であり、古来より食味、品質、生産量ともに全国トップクラスの米どころとして日本の食卓を支え、これらの恵みを生かした酒、味噌、醤油等の醸造業が今なお息づいています。

また、環境保全に対する意識が高い農業者も多く、県内で最も有機農業が盛んな地域であり、令和5年度の有機農業取組面積は約46haで、うち水稲が約32haとなっており約70%を占めております。

本市では、消費者の満足度を高めるため、環境にやさしい米づくりが盛んに行われてきましたが、東日本大震災に伴う原子力災害の影響による消費者の買い控えなどにより、有機農業の取組は減少しており、未だに以前の作付面積までには回復していない状況となっています。

一方、気象変動等により環境に配慮した農業が世界の潮流となる中、生命産業である農業が基幹産業である本市におきましては、生態系の力を最大限に生かし、自然と多様な生き物が共生する持続可能な農業をさらに広げていく必要があります。

このため、県が主体となり市や市内農業者と連携しながら、ドローン等のスマート農業機械を活用した化学肥料、化学合成農薬の低減や中干しの延長による温室効果ガスの排出量の削減などの検証を行った成果を広く周知するとと

もに、有機農業等の取組の復興・創生を着実に進め、カーボンニュートラルの実現を目指すため、令和6年5月に「オーガニックビレッジ」を宣言しました。

このような取組を通じて、市内有機農業者や消費者・実需者と力を合わせ、有機農業をはじめとした環境にやさしい農業の推進を図るため、市全域を特定区域として設定します。

2 特定環境負荷低減事業活動として求められる事業活動の内容

(1) 活動類型 有機農業の生産活動、環境負荷の低減に資する先端的な技術を活用して行う生産活動

(2) 特定環境負荷低減事業活動の内容

特定区域では、JA、認定農業者協議会、指導農業士会、観光物産協会、地元量販店、農業共済組合、土地改良区連絡協議会、県農林事務所、農業委員会、喜多方市等で構成する「喜多方市環境にやさしい農業推進協議会」を中心に有機農業を推進するとともに、環境負荷の低減に資する先端的な技術を活用した環境にやさしい農業の推進を図ります。

有機農業の取組拡大に向けては、有機農業に取り組む農業者や新たに取り組む農業者を対象に関係機関、団体等と連携し、市全域で家畜ふん堆肥など地域の有機資源の活用、土壌医等による土壌診断に基づく土づくりの推進、専門家による個別指導や有機JAS認証取得の支援により有機栽培技術の向上を図ります。

また、環境負荷低減に資する先端的な技術を活用して行う生産活動を拡大するため、農業用ドローンや自動操舵トラクターをはじめとしたスマート農業機械や省力化技術の導入のための支援を行い、これら技術を活用した環境負荷低減事業活動を市全域で推進します。

さらに、有機農産物を扱う実需者との販路相談会（商談会）を通じた実需者とのマッチング支援による販路の確保や農林水産省「農産物の環境負荷低減の見える化」の取組支援、学校給食での有機米の提供により、有機農業に関する消費者理解の醸成を図ることで、喜多方市全域で有機農業取組面積の拡大を目

指します。